

(公社) 日本設計工学会・(地独) 東京都立産業技術研究センター共催

2011 年度 (公社) 日本設計工学会講習会

『心惹かれる工学設計の基礎講習－造形デザインを工学設計に取り込む極意－』

開催日：平成24年2月22日(水)、申込〆切：平成24年2月20日(月)

申込み〆切を延長しました。

開催趣旨

「人や社会に役立つモノ」や「人や社会を豊かにするモノ」を設計することが工学設計です。しかし、それは設計者の独りよがりではなく、広く使ってもらえるモノでなくてはなりません。そういう観点から、感性工学的要求を取り入れ、使いたいと思わせるデザイン、例えば、外観、質感や色合いなどに性能品質の良さがにじみ出る製品を開発する必要性が高まっています。しかし、造形デザインと工学設計は同じモノづくりであっても、全くアプローチが違っており、それに携わるデザイナーもしくはエンジニアも全く異なるカリキュラムをえています。したがって、造形デザインと工学設計の融合は難しく、その両者を担う技術者も育成できていないのが現状です。最近では、3次元CADにより作成される電子データを介して、こうした異分野の乗り入れが少しずつなされるようになってきたものの、まだまだ十分ではありません。今日の我が国の製造業は、「コスト削減」、「納期の短縮」が強く求められるとともに、高い品質を維持しながら、このような多様化が進むニーズに対応していく必要があります。そこで、本講習・相談会では主として中小企業を対象として、感性工学的なデザインと工学設計の両者に焦点を当て、それらを融合する実践的設計手法について、第一線で活躍の講師の先生をお招きして、実例を挙げながら解説します。また、こうした設計を習得するにはどのような技術者教育を実施すればよいのか、そのためのツールとしていかにして3次元CADを活用すればよいのか具体的に解説し、理解を深めていただきます。また、技術相談会と産業技術研究所センター所内の見学会も行います。企業や研究所、学校関係の技術者、教育者の方々にとって貴重な講習となると思います。多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成24年2月22日(水)13:00～17:30

会場：(地独) 東京都立産業技術研究センター

(〒135-0064 江東区青海 2-4-10) <http://www.iri-tokyo.jp/map/index.html>

司会：大高敏男(国士館大学)、平野利幸(都立産業技術高等専門学校)

時間	題目	内容	講師
13:00 ～13:15	開会挨拶および都立産技研究センター紹介	地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 理事長 片岡正俊	
13:15 ～14:00	審美的アプローチによる設計の可能性	審美的アプローチによる設計の可能性は、品質向上策として新幹線など実際の工業製品が証明しています。感性領域を担うインダストリアルデザイナーと、工学の機能性領域を担うエンジニアとの協働を促す設計手法について解説します。	産業技術大学院大学 教授 福田哲夫
14:00 ～14:45	新しい CAD のスタイルで実現するデザインと設計の融合	PTC の新しい設計ソフトウェアファミリーである Creo の特徴を活かしながらデザインと設計をよりシームレスにつなげる手法を事例を交えながらご紹介いたします。	PTC ジャパン株式会社デスクトップ事業部 ディレクター 藤井宏樹
15:00 ～15:45	デザインと設計の融合教育について	工学設計教育において、感性工学的なデザインを同時に習得することは、時間的にもカリキュラムとしても難しいことです。ここでは、3次元 CAD を活用した教育手法について本校の事例をまじえて解説します。	都立産業技術高等専門学校 教授 朝比奈奎一
15:45 ～16:30	都立産技研究センターシステムデザインセクター紹介	(地独) 東京都立産業技術研究センターは、本年10月1日にお台場に本部を移転し、新しいオフィスで営業を開始し、新事業の目玉のひとつとして、システムデザインセクター、高度分析セクター、実証試験セクターの3セクターを新設しました。システムデザインセクターは、売れる商品づくりをトータルに支援することを目的とする公設試験場としては、かなりユニークな活動を展開中です。そこで、システムデザインセクターに関して、その目的、そのための業務内容、具体的な設備、事業の概要を実例を踏まえながらご紹介いたします。	地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター 坂下 和広
16:40 ～17:30	技術相談会と所内見学	技術相談会：事前にお申し込みをお願いします。 (相談分野：3D-CAD/CAE/CAM、機械設計、加工など) 所内見学ツアー：都立産技研究センターを見学頂きます。	
17:30 ～19:00	交流会	立食形式による懇談会(参加費：¥1,000(学生は無料)当日会場にて徴収いたします)	

定員：40名 定員になり次第締め切ります。

参加費：無料

申込方法：氏名、所属、連絡先、講習会名、懇談会出席有無を記入の上、FAX または E-Mail にて(公社)日本設計工学会事務局宛にお申し込みください。

問い合わせ先：〒154-8515 世田谷区世田谷 4-28-1 国士館大学理工学部 大高敏男

電話 03-5481-3334/FAX03-5481-3253 E-Mail: otaka@kokushikan.ac.jp

詳細は学会または産技研センターのホームページをご覧ください。

<http://www.jsde.or.jp/>

<http://www.iri-tokyo.jp/index.html>

申込先：(公社)日本設計工学会

〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-22-17 セラミックビル内、電話 03-5348-6301、Fax03-5348-6280、

E-Mail: jimukyoku@jsde.or.jp URL: <http://www.jsde.or.jp/>